

## **多摩川水系におけるマス類生態調査**

### **【背景と目的】**

多摩川水系上流域は渓流釣り場として都民から親しまれ、5つの漁協によりマス類の増殖が行われており、都市河川の貴重な漁業資源となっている。しかし、近年の気候変動によって夏季の気温・水温は上昇傾向にあり、マス類の生息環境が悪化している懸念がある。その一方で、近年の多摩川水系におけるマス類に関する調査実績は少なく、現在の生態及び生息環境を十分に把握できていない。

そこで、本研究では、現在の多摩川の各流域にどのような魚がどのくらい居るか、また、どのような環境になっているか把握し、気候変動下においても適切な漁場管理を行うための資料を得ることを目的とする。

### **【研究概要】**

(1) 直接採捕調査、環境DNA調査によるマス類生息状況の把握

水温・底質など河川環境の把握

(2) 聞き取り調査、分子系統解析による東京在来系群の分布把握

(3) 産卵床計数、流下稚魚採集など産卵状況調査による再生産が行われている流域の把握